

クマゼミの声を聴きながらA Iに驚く

安城中部小学校長 稲留 雄一

7月7日（月）七夕。今年初のセミ（クマゼミ）の鳴き声を耳にしました。セミの鳴き始めはいつ頃だったのでしょうか？早速A Iに尋ねてみると、

『クマゼミの鳴き始めの時期は、平年でおおよそ7月中旬から下旬にかけて始まることが多いです。ただ、これは地域によって多少の違いがあり、温暖な地域では7月初旬から鳴き始めることもあります。』

また、鳴き始めの時期は気温や湿度、年ごとの気候変動に影響を受けるため、年によって多少の前後がありますが、一般的には梅雨明け後にクマゼミの鳴き声をよく耳にするようになります。あなたの地域ではクマゼミはもう鳴き始めてますか？』

とのことです。「7月中旬から下旬にかけて」なので、ずいぶん早い鳴き始めなのでしょう。7月4日が愛知県の梅雨明けでしたが、平年より2週間近く早いということなので、クマゼミも梅雨明けを待って鳴き始めたのかもしれない。

いずれにしても厳しい暑さが続きます。夏休みの外出時の子どもたちの健康管理にはくれぐれもご配慮ください。中部小学校では「5 ごっくん」を推奨しています。子どもたちにもぜひ声をおかけください。

さて、先ほどのA Iですが、前述の質問にも瞬時に答えてくれました。A Iは無敵ともいえる情報から、質問に即した適切な回答を導き出すというのですから驚きです。これが生成A Iともなると、回答してくれるだけでなく、テキストや動画など、オリジナルのコンテンツまで作り出すというのです。プレゼンテーションから動画制作や作曲など、以前は人間でなければできないと思われていた創造の領域でも、生成A Iが短時間でオリジナル作品（データ）を作り出す時代がやってきました。

これをうまく活用できれば、作業効率も上がり、世の中がもっともっと便利になっていくのでしょうか。が、なんだか背中がゾクッとしてしまうのは私だけでしょうか？

今後、生成A Iはさらに進化を遂げることは間違いありません。10年後、20年後、つまり、子どもたちが大人になった世の中はどうなっているのでしょうか。その時までに、子どもたちにどんな学びを、どんな経験をさせてあげればよいのでしょうか。年号を覚えたり、計算が速くできたり、英単語がたくさん書けたり…。できるに越したことはないのですが、すべてP C、スマホで事足りてしまうことばかりです。

こうした時代だからこそ、子どもにはたくさんの経験をさせてあげたい、感性を高めてあげたい、自分で考えたり、選んだり、決断したりする機会を作ってあげたい。みんなが笑顔になるような企画を考える喜びを味わわせてあげたいと日々思っています。

さあ、夏休みが始まります。子どもたちがどんな経験をしてくれるのか楽しみです。

ちなみに、先ほどのA Iに、2025年の愛知県の梅雨明けがいつだったか尋ねてみると、「2025年の愛知県の梅雨明けについては、現時点では正確な予測はできません。」だそうです。なんだかほっとしました。素敵な夏休みにしましょうね。

